

## マーケットの動き (2022年10月11日～10月14日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週初は、前週末の米国雇用統計を受けてFRB（米国連邦準備制度理事会）の積極的な利上げ継続に対する警戒感が改めて意識されたことから、日経平均株価は下落してスタートしました。13日に発表された9月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り、米国株式が一時的に上昇したことから国内株式にも波及し、日経平均株価は前週末と同水準まで下落幅を縮めました。

## 投資環境見通し (2022年10月)

## 国内株式相場はレンジ内で推移

企業業績については、原材料高や世界景気に対する懸念は残るものの、中国では政府による景気刺激策で景気が緩やかに持ち直すと思われること、国内ではインバウンド需要を含む需要の緩やかな改善に加え、輸出企業の想定為替レートを上回る円安水準が続いていることから、当面は底堅いと考えています。国内株式相場は、米国や欧州における景気の先行き不透明感が重しと考えられますが、インバウンド需要の拡大見通し、物価高抑制に向けた政策支援や円安効果による企業業績押し上げ、企業による積極的な株主還元を支えられ、レンジ内で推移するとみています。

	10月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,898.19	▲0.45%	▲2.53%	▲0.52%	▲4.47%
日経平均株価	27,090.76	▲0.09%	▲2.62%	▲0.30%	▲5.11%

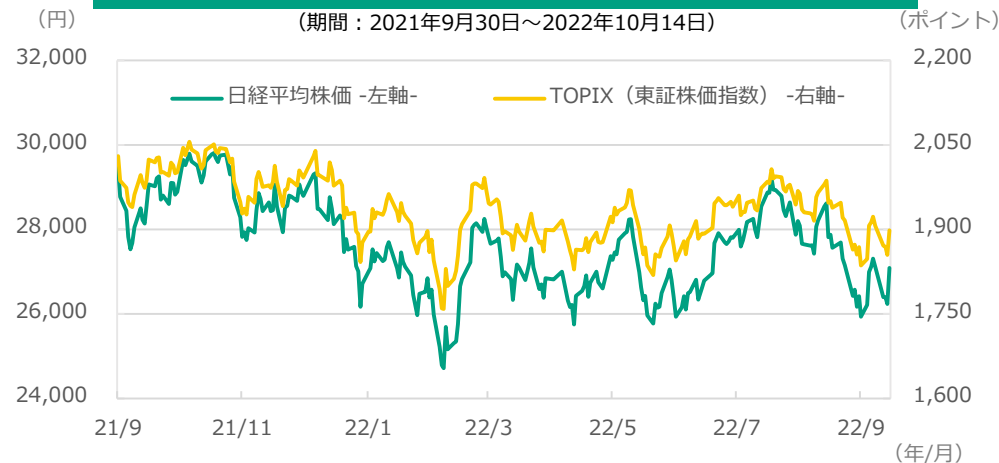
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

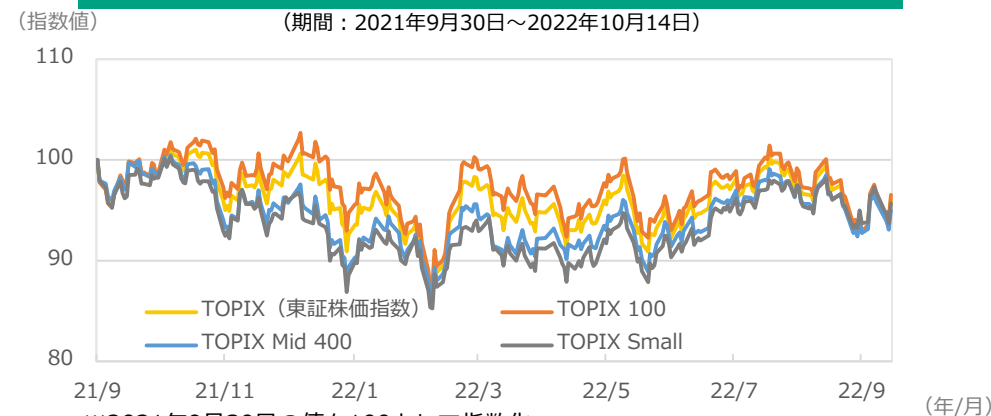
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202210\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202210_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日経平均株価、TOPIXの推移



## TOPIX規模別指数の推移



※2021年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成